

2020/11/12-2

(うと Q 世話し その結末や如何に)

先般の記事で今コロナ禍「売上 0 をも想定内に置かなくてはならない」という事を申し上げます。

本件につき今少しご説明を。

まず 3 年前この地にカーリー屋として飛来した折、周りには多棟団地群、通りを挟んだ対面には小規模とはいえ SC (shopping center) もあり開店するには最適の場所だと思っておりました。

しかし蓋を開けてみると通りを挟んだ SC 側には往来があるのに、こちら側には殆ど往来がないとか、周りの多棟団地群は築 40 年以上で建物も住人も[老朽化}して購買力がない事が判明。

その為何とか流れを変えようと様々な催事や情報発信を行い続け、本年年初辺りから少しずつ流れに変化が起きた矢先、コロナ禍に見舞われました。

程なく、少し離れた大手ローコストオペレーションスーパーが撤退し、続いて道を挟んだ眼前の SC にテナントとして入居している大手ベビー用品チェーン店が撤退、更に英会話教室や高齢者向け大手エクササイズ教室も撤退、更には今月半ばで一番占有面積の大きかった中高年向けファッションショップも撤退することが決まりました。これらは全て二階建て SC の二階部分の出来事なのですが、下手をすると 1 階部分を占有している電鉄系大手スーパーすら撤退する事も考えられます。

そうなる最早人の流れは激変し、この「方面全体」にお客様の足が全く向かなくなる事が予見されました。

それで先般の記事で「売上 0 をも想定内に置かなくてはならない」と申上げた次第。

しかし又コロナ禍で逆に効用もあります。

感染第二波が起きそうなこれからの寒季、再びテレワーク率が上がれば、却ってこの地の昼間滞在人口が増えます。無論、冬のボーナス支給額低下や寒さそのものと過度の用心といった出足にマイナスの面もありますが、矢張滞在人口そのものが増えるのはプラス面となります。

加えてこの地には EC (ネット上の市場) サイトを運営する大手 IT 企業の外国人ソフトウェアエンジニアが相当数住んでおります。

無論こちらのグループにも上述のマイナス面は当て嵌りますが、彼らが頂戴しているサラリーそのものは悪くはないので購買力としては有望です。

そこで一つ

彼らも外出を控えるのなら、そして EC 注文品が配達に 1 両日を要するのなら、且つ又彼らの大多数がカレー文化圏住民であるなら

「御当地宅配 OK のカレー素材輸入食料品店」を当店隣の未稼働部屋に併設してみてもはと思案し始めた次第。

さて、その結末や如何に。